

# 令和3年度 第1回 北広島市旧島松駅通所整備基本計画検討委員会 議事録概要

日時 令和3年10月1日(木) 午後4時00分から

場所 北広島市エコミュージアムセンター2階 ライブラリーミーティングルーム

## ◎出席者

### ●委員

北海道大学名誉教授：角幸博、北海道大学名誉教授：平井卓郎、

札幌市立大学准教授：森朋子、北海道博物館学芸員：圓谷昂史

(欠席 北海道埋蔵文化センター：藤井浩)

### ●オブザーバー

北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課：赤井文人

北広島市役所企画財政部企画課長：佐藤直人

北広島市役所経済部観光振興課長：橋本征紀

北広島市役所建設部建築課長：松崎隆志

### ●事務局

教育部長：千葉直樹

エコミュージアムセンター長：丸毛直樹、主査：畠誠、主任：記内瑞穂、会計年度任用職員：高柳達志

コンサルタント会社：(株)KITABA 神長、窪田、百瀬

北電総合設計(株) 大日向、長澤

## 1 開 会

## 2 委員長あいさつ

### 委員長

- ・ 昨日で緊急事態宣言も解除されたが、まだまだコロナ禍の収束までには時間がかかる。本日対面で会議できることに感謝する。
- ・ 今年度第一回目の会議だが、昨年度の2回の会議でいただいた皆さんの意見を反映した計画として修正してきている。
- ・ 耐震の報告の後、計画素案についてできるだけ時間をとって、皆さま方から忌憚のないご意見をいただきたい。
- ・ より良い計画になるように皆さま方と一緒に検討していきたい。

## 3 議事

### 【報告】

- |                               |      |
|-------------------------------|------|
| (1) 史跡旧島松駅通所耐震診断調査業務委託報告書(抜粋) | 資料-1 |
| (2) 前回委員会の議事概要と素案の修正箇所        | 資料-2 |
| (3) 過年度検討箇所と今年度検討箇所の確認        | 資料-3 |

## 【議案】

(1) 史跡旧島松駅通所整備基本計画(素案)について 資料-4

- ・ 事務局から各資料について説明

### 委員長

- ・ 皆さん方の意見をいただくために、順番に見て行ったほうがいいと思う。
- ・ まず4章の基本方針について、何かある方いらっしゃるか。

### 委員

- ・ 農業と駅通所が同じ場所で行われていたというのは、関係があり必然だったのだと思う。その当時、情報が行き交う基点になっていたのだと思う。たまたま両方やっていたのではなくて、同じ人物が農業と駅通所を両方やっていたのは意味があったと思う。
- ・ その当時、駅通所は北海道に何か所もあったと思うが、北海道の鉄道網が発達する前の時代に、この島松に情報が集まっていた、その時の事情がわかると興味が一段と先に進むと思った。そのようなことを実際展示するときに考えてもらえると更に楽しい。

### 委員長

- ・ 今のように SNS が無い時代に、全道の中でもこの駅通所というのがどんな風に言われて使われていたのか、なかなか実態がつかみにくいところもある。

### 委員

- ・ 私は、アメリカの西部劇を見て育った世代で、馬で人が移動してその場に人が泊まるようになって、そこに町ができて、というのはなんとなくイメージがつく。北海道はそこまでではないにしても、想像すると楽しい。

### 委員

- ・ 確認させていただきたいのが、駅通所時代(明治 17～30 年)と表現されているが、これを再現するのだという位置づけがされている。これはこれでよいと思うが、それを踏まえて図を見ると、丸が 3 つあり、真ん中と右の丸が当てはまるのかと受け止めた。駅通所のことや明治 17 年前の部分というのが、左の丸になるのかと思うが、ここが、どうゆうふう整備をできるのかと思った。
- ・ また、史跡指定の状況で、駅通所のこと書いてあるということを見ると、この場所で中山久蔵が駅通所業務を実施されていたということに加えて、あのエリアに駅通所があったということも、場所(恵庭側)は違うということだったが大切なことだと思う。そこをどのように整理するのかというのが、若干難しいのか、どのようにしたらいいかと思った。
- ・ 明治 17～30 年に限るということになると、行在所自体はその間というのは、どう使われていたのかわかるのだろうか。旧島松駅通所へ訪れて、説明を受けた際も明治 17～30 年だけの展示ということではなく、その他の時代のことも説明を受けたので、その後神社になったことなど、そこがどのように整理できていくのか、やり方を考えたらできるような気もする。
- ・ 明治 17～30 年に軸を置いて整理するということは、よいとも思うので、ストーリーも大切である。一人の人がこ

ここで農業を始め、情報も得つつ、駅通所業務もやった。なぜここでやりだしたのか、駅通所という単なるインフラやシステムでなく、その時の社会というものが、うまくこの明治 17～30 年、中山さんのやっていたことにフォーカスすることによって豊かに表現でき、そこはすごくよいと思う一方で、全体像や明治 17 年の前の部分をどういう風にコンセプトに位置付けていくかというのは、考えなくてはいけないと思った。

#### 委員長

- ・ この建物が持っている、特徴、単純に駅通所だけでなく重層化しているところを、どう表現するかというのは一番大切に難しい。
- ・ 史跡自体は、駅通所というところが評価されているので、そうすると明治 17～30 年が一つの大切な部分としてある。突然それができるわけではなく、その前後に生活がある。その辺りが、今お話し聞くと、受ける側が混乱するところではないか。建物が持っている色々な意味合いがある。

#### 事務局

- ・ 色々な変遷をなんらかの形で紹介していく場面が必要だと思っている。
- ・ なぜこの場だったのかということや、建て増しの歴史などは見ていくとわかる。元々はこうだったが、役割が変わる中で、駅通所の形になったそれらの変遷を伝えていくことが大切。

#### 委員長

- ・ それを今度どのように表現していくかというのが、繋がってくると思うので、委員が指摘されたことを、難しいと思うが表現していきたい。

#### 事務局

- ・ この建物を見た時に、色々な時代の中での使われ方の変遷がある中で、駅通所だったということがどうしても忘れがちだということが、これまでの議論で意見としてあった。
- ・ 行在所となった時は、駅通所になる前からあったが、それが駅通所時代に泊まった人たちがこうだったと見ていた、その状況を見せるということができると、駅通所と中山久蔵の色々な史実が繋がって、伝えられると考えている。

#### 委員長

- ・ 明治 17 年に正式に中山久蔵が駅通取扱人となった。その前から人が泊まったりはしていたと思う。

#### 委員

- ・ 明治 14 年から 17 年の間のブランクの部分はどうしていたのだろうか。

#### 事務局

- ・ 元々、一代から三代目の取扱人の時は恵庭側の駅通所が島松駅通所であった。
- ・ 三代目の取扱人が小樽市の人だった。毎回なかなか来れないので、中山久蔵が面倒を見ていたということがある。

- ・ 恵庭の方の駅逡所の管理人は 2 年毎に交代しており、三代目の方もなかなか来れないというもあり、中山久蔵宅が明治 13 年くらいから宿屋としてあったということは、旅人の日記等からわかっている。そのようなことから、明治17年には正式に札幌県の方から駅逡所及び取扱人の要請があった。

#### 委員長

- ・ 以上のようなことがクリアに分かるような表現だと理解しやすいという事だと思う。
- ・ しっかりと内容を読んでいくとそのように書かれているとは思。
- ・ 理解しがたいところがスムーズに理解してもらえるような表現にしたい。

#### オブザーバー

- ・ 第 4 章の基本方針で、1 に基本理念と基本方針があり、2 に整備のコンセプトがあるが、1 と 2 はどう違うのか？なぜ二つに分けられているのか。
- ・ 図 4-2-1 の整備のコンセプト関係図は、丸が 3 つあるが、これが矢印で結ばれるのだろうか。どのように読み取ったらよいか。
- ・ 整備のコンセプトは、この後の整理に直結する非常に大切な部分であるので、委員の皆さん意見をしっかりとご議論いただいた方がよいと思った。

#### 事務局

- ・ 基本理念と基本方針と整備のコンセプトの違いについて、整備のコンセプトは少々わかりづらくなっており、整備のコンセプトはどのようなことを伝えていきたいかという内容になっている。

・

#### オブザーバー

- ・ コンセプトはこのような感じで論じている。整備の基本方針ではこのように論じる、と明確に伝えたほうがよいと思った。
- ・ 丸の部分が伝えたいことで、その下の四角は丸の内容を説明しているもの。
- ・ ここは史跡なので建物の変遷も大切と思うが、本質的価値の中で交通の要衝であったということからそれを記載しなくてよいのか。付加される価値として、中山久蔵、明治天皇、クラーク、軟石、これらを整備して十分に顕在化させることができるのか等、委員の方々と議論できているのかということが大切である。

#### 事務局

- ・ 整備の基本方針の中ではきちんと整理をしていかななくてはならないと思う。

#### 委員

- ・ 今回は史跡の検討であり建物の価値も分かるが、農学部にもいたこともあり、その時から、中山久蔵が稲の道内全体への普及について力を入れていたというのは聞いていたが、改めて重要な篤農家がいたのだなと感じた。
- ・ 中山久蔵の活動や駅逡所が北海道で段々と発展していく過程で、色々な役割、情報を流したり人を繋げたりしてきたのだなと思うと、この史跡の価値は直接は建物だが、付随的なものもウェイトが高いと思った。そのウ

ェイトを下げてもよいと思った。

## 委員長

- ・ 難しいのは、史跡の本質的価値の構成要素と中山久蔵に関連した要素は、少し違う扱いをしている。そこを概念図だけだと、なかなか伝わらないと思う。
- ・ 後を見ると、きちんと説明はしてあると思う。駅通所の果たした役割など。コンセプト関係図だけを見ると、ややシンプルになり過ぎている感じがある。表現の仕方含めて検討してもらえたらよいと思う。
- ・ 本質的価値というのと、付加価値。その付加価値の表現が難しい。駅通所そのものがまず核なのだけど、それ以外の色々な歴史が重層していることがこの魅力だという事が表現されるとよい。
- ・ 史跡の構成要素で一番重要な部分(建物)が無いと、この史跡の意味が深化しない。

## オブザーバー

- ・ 史跡の整備という事がコアにあると思う。その重要な要素として建物があり、建物をしっかりと整備していくということがある。
- ・ 整備のコンセプトということで、この史跡に他の方が訪れて、この場所が明治初期からある段階の交通の要衝であったことが周遊するなどで実感できる整備をする、というのが整備のコンセプトになると思う。
- ・ 例えば、ある史跡を訪れると、縄文時代のこの時代の暮らしがよくわかる、史跡を周遊すると地域の歴史が全部わかるというのをコンセプトとして整理するのがコンセプトなのかと思う。
- ・ 史跡を整備される時に、一体として整備すると、どのようなことが一般の方に体験・体感・分かってもらえるのか、歴史について学んでいただける、というのがコンセプトとして出てきて、それをするためには具体的にどのような方針とするのか、という理念的なものがあり、後段にそれをするための具体的な整備で行うことが整理されている、というのが一般的かなと思う。

## 委員長

- ・ 駅通所という概念で、交通の要衝であるということを代表させてしまっているのかもしれない。
- ・ 今の道を見ても交通の要衝とは思えないのもあったりするので、その辺り意識した表現の仕方、基本方針のところも考えていきたい。

## 委員

- ・ 中山久蔵の土地が変わってきて、このような場になったというのは、駅通所になる前のこと、駅通所には直接かかわらないかもしれないが、水田をやってみたり、宿をやってみたりという、この場所、駅通所という場に負荷されることだと思う。
- ・ 明治 17 年ではなくて、もう少し前からでも捉えると、ここの中山久蔵事績エリアについてもすんなり入って来ると思う。
- ・ コンセプト図はまたブラッシュアップしていただくとして、左の丸の駅通所という北海道特有のこと、島松というこの場所が重要だと思う。
- ・ それらをどこで表現するか。直接的に史跡の赤いエリアでは、なかなか表現できないと思う。広げないと。その辺りは展示なり、どのように整理していくのかなというのは、先ほどのコンセプト図での疑問と重なって来る。

#### 委員長

- ・ 表現の仕方なのかもしれない。つまり、この建物自体は明治 17～30 年ということに固定しているが、当然、中山久蔵はそれ以前から住んでいるわけで、そことの関係性がぶつと切れている印象なのかもしれない。

#### 委員

- ・ 年代を決めつけてしまうと、そうではないその前後関係というのが、エレメントとして入っているので、何となく違和感がある。
- ・ 駅通所が大切だが、それに関連して、人や周りのことも本質的価値クラスとして、受け止めるという構図でいくと良いのかと思う。
- ・ それが、史跡指定というフレームの中で難しいのであれば、どのようなやり方があるのか、疑問である。

#### 委員

- ・ 三つの丸のところ、「島松駅通所の歴史的価値を知る」というのが上部にあり、その下にこの3つがあるというイメージだろうか。真ん中に建物の価値があり、それ以外に連動して、中山さんと駅通所のことが並列に並んでいて、全体の上に、島松駅通所の歴史的価値を知るという事があると、整理しやすいか。

#### 委員長

- ・ 今の表現だと、真ん中以外が付加的なものに見えてしまう。
- ・ 付加価値ではあるが、それぞれ重要なのではないか、というのが委員の意見。表現の仕方と、コンセプトという言い方が適切でないのかもしれない。
- ・ 後でまた同じ図が出てくるので、こちらも修正する必要がある。

#### 委員

- ・ 暖水路に通水する可能性があるのか。

#### 事務局

- ・ あのあたりは湧き水があるので、水を流す排水などをしっかりと整備すれば、流せないことはない。暖水路を作れば理解が深まる。

#### 委員

- ・ 小学生が見学に来たら、出るところと、流れるところ、排水するところを見られるといい。
- ・ 温度の表現を見られるようにするといいいのでは、1度上がったなどが見られると分かりやすい。

#### 事務局

- ・ 現在は、池が暖水路的な役割を果たしており、池に一度入れて温まって、それを見本田で使用している。
- ・ 耐久性のあるものとするリアルさがなくなってくる可能性があるので、検討が必要。

## 委員

- ・ 復元するという考えも一つあるが、今のお話を聞いたら、出水口と出ていくところの温度が見られたら、そのようなことを昔の人は考えてやっていたのだという事が見られて、それでも十分なのではないかと思う。
- ・ 同じような機能のものがあれば、歴史的な価値の一つを伝えることができる。基本的な原理を見ることができれば、展示としての意味があるのではないかと思う。

## 委員長

- ・ 外部空間の展示の仕方として、意見を踏まえてもらえればと思う。
- ・ 「遺構表現計画」という言葉は一般的なのか。

## 事務局

- ・ 文化庁の様式であがっている。こちらでは、蓮池や見本田は昔あったことは確かだが、表現をしているものとして整理させて頂いている。

## オブザーバー

- ・ 分かりやすい例でいうと、平城宮だとか、柱の跡がここにあるということを一般の人に分かりやすく表現することで、生垣などで表現することである。
- ・ おっしゃったように、日本語的におかしいということであれば、変えてもいいと思う。そこまで強制するものではない。

## 委員長

- ・ 言葉がちよっと違和感あるので、何かいい言葉があれば検討する。
- ・ 防災体制については、これくらいでいいのだろうか、と思う。

## 事務局

- ・ 協議精査させていただきたい。

## オブザーバー

- ・ 防災設備はどうなっているのか。

## 事務局

- ・ 放水銃や中にも設備がある。

## 事務局

- ・ 今の放水銃も古くなってきている。
- ・ 貯水施設も史跡内に持っているが、かなり古くなってきている。

## 委員長

- ・ もし防災設備についても気になる処があるならば、計画に入れておくと、後で取組みやすいと思う。

## オブザーバー

- ・ 電動のポンプだと地震の時には使えなくなってしまう可能性がある。エンジンポンプなども検討してみるといい。事情があると思うので、必要に合わせて記載してもらえると良い。

## 委員長

- ・ 今日色々と有益なご意見を頂いた。駅通所があそこにある意味、交通の要衝であるという事がもう少し文章の中にもあった方が良いかもしれない。その辺り、しっかりと整理していきたい。

## 委員

- ・ 石碑が老朽化しているということで、補修していくという観点で、胆振東部地震という話が出ていたが、建物はもちろんだが、周りの要素についても、地震の際にどのような対応するかも大切である。石碑等は復旧できるような記録などはしてあるのだろうか。一度壊れてしまったら、修復できるようなデータがこの段階で整理できていると良いのかなと思う。例えばバリアフリーの視点で、ルートが図で書いてあったが、車椅子の方も行けないところもあるが、例えばそのデータを提供して見てもらうというのにも応用できると思う。
- ・ また、外も大事だが、内部の資料の展示については、今後の話になるかもしれないが、どんな風に展示保存していくか、どんなふうに管理していくか、ということも大切。
- ・ コンパクトな空間にもものすごい多様な資料でボリュームが満載な現状である。ボリュームがあることで、色々なことができると思うので、何を見せるかということは大切。団体で入ってくるお客様がいて、これから沖縄へのお客様が減って北海道が多くなる状況である。
- ・ 暖水路についても、SDGs 的な観点で見てもらえると、より現代にも繋がる魅力という視点で伝えることができるだろう。
- ・ 駅通所の冊子等の作成については整備計画のなかでは整理しないのか。

## 事務局

- ・ 計画の中にはパンフレット等の作成について記載している。

## 委員

- ・ 重厚な内容なので、これらのデータを元に冊子的なものもあると、現場では見切れなくても、後から理解してもらえと思った。

## 委員長

- ・ 簡単に「パンフレット等による」、と書いているが、もう少し具体的に書いてもいいかもしれない。海外の方は情報が多いと喜ばれる。
- ・ パンフレットは情報を少しずつシリーズもので出すなどすると、リピーターへもつながる。
- ・ あまり具体的に書くもの大変だと思うが、将来的には取り組めると良い。



#### 委員

- ・ 一つのバスで行ける場所というのは、求められている。北広島市さんはいろんな見どころがあるので、周知すると、最近の修学旅行等でもニーズがあるところである。

#### 委員

- ・ 史跡指定地外計画方針というのがあるが、史跡公園などを含めて、今回の整備基本計画をやっていくのであれば、6章の完成予想図もここまで入れて書くのか。

#### 事務局

- ・ どこまで具体的に書き込めるかは検討だが、史跡指定地外についても記載していく。
- ・

#### 委員

- ・ 先ほどの整備のコンセプト関係図とも関係するが、史跡指定地外のことも含めてその辺りの位置づけも整理して欲しい。

#### 委員長

- ・ 道路を渡っていくというのは、危険という話が委員からもあった。
- ・ たまたま、横に市有地があり、そこを駐車場や公園にして、今までの駐車場を第二駐車場などにできると良いという、考え。史跡指定地外のことなので、新たに検討しなければならない。
- ・ 全体を見た中で史跡をサポートするという考え方を示しておいたほうがよい。未来へつなげるような意識で作っていかねばと思う。

#### 委員

- ・ 解釈の問題だと思うが、史跡公園のところも含めて、3つの丸を伝えていくのであればよいと思っている。
- ・ 建物の展示で一つの丸の内容を表現しようとしているのであれば、本当にそれでいいのかと思っている。展示の導入部分のところはこの丸が入っているので、いいのかと思った。

#### 委員長

- ・ 基本方針のところは核になるところなので、伝わりやすいよりよい計画を目指していきたいと思う。
- ・

#### 事務局

- ・ 保存活用計画について、一部国有地が入っていたことで、取得の作業を行っていたが、国有地の部分を10月1日付で、全ての土地が市のもとなった。
- ・ この後、市としての計画決定の手続きを進めていきたい。
- ・ 市有地の道路側の間口が狭くて、という課題については、管理者と調整させていただき、一部を使用させていただくという可能性が見えてきたので、検討を進めていきたい。
- ・ 次回については、11月頃を予定している。